# 別のシステムリカバリサーバで作成した Windows PE の ブートエージェントをコピーする方法

別のシステムリカバリサーバで作成した Windows PE ブートエージェントをコピーする方法について 説明します。

「注意

▶ Windows PE ブートエージェントのコピーは、ディスイメージ取得やディスクイメージ 配信などのサービスが動作していない状態で実施してください。

#### ■制限事項

別のシステムリカバリサーバで作成した Windows PE ブートエージェントをコピーする場合、以下の制限事項があります。

 Windows PE ブートエージェントの登録番号(UPA001、UPA002 など)は変更できませんので、 コピー先に既に同じ登録番号がある場合はコピーできません。

## ■操作方法

操作

1 Windows PE ブートエージェントの登録番号を確認する

コピー元とコピー先で、システムリカバリサーバの環境設定 Wizard を起動し、

【ブートエージェントの管理】より、コピーする Windows PE ブートエージェントの登録番号を 確認します。

コピー元とコピー先で、コピー対象の登録番号が被る場合は、

当画面上の【コピー】ボタンにより、新しいブートエージェントを作成します。

dows PE ( 「カスタマイ	x64) ブートエージェントの新規作成/削除/ (ズ」によって各ブートエージェントの詳細情報の	コピー/デフォルト )確認/設定変見	の指定が行えます。 更が行えます。		
	T LT MANLØ	Bit of and D	DE (É. 25-3)	佐井口味	
0	MyWinPE 10.0 22H2 x64	显彩書写 LIPA001	10.0(22H2)	2025/01/08 18:15:55	新規作成( <u>A</u> )
0	MyWinPE 10.0 22H2 x64 add LAN MyWinPE 10.0 2004 x64	UPA002 UPA003	10.0(22H2) 10.0(22H2) 10.0(2004)	2025/01/08 18:19:24 2025/01/08 18:24:25	カスタマイズ( <u>Z</u> )
				1	削除( <u>D</u> )
					⊐ピ–( <u>C</u> )
					デフォルトに設定(

2 Windows PE ブートエージェントのフォルダをコピーする

コピー元のシステムリカバリサーバの Windows PE ブートエージェントのフォルダを、コピー 先のシステムリカバリサーバにコピーします。 ※以下は、Windows PE (x64) ブートエージェントの UPA001 をコピーする場合の例です。

#### 《コピー元》

- <システムリカバリサーバのインストール先フォルダ>¥tftp¥agent¥winpe¥amd64¥ boot.UPA001
- <システムリカバリサーバのインストール先フォルダ>¥tftp¥boot¥winpe¥amd64¥ user¥UPA001

#### 《コピー先》

- <システムリカバリサーバのインストール先フォルダ>¥tftp¥agent¥winpe¥amd64¥ boot.UPA001
- <システムリカバリサーバのインストール先フォルダ>¥tftp¥boot¥winpe¥amd64¥ user¥UPA001

#### 作注意

コピーする Windows PE ブートエージェントのフォルダ名(boot.UPA001、UPA001など)は変更しないでください。フォルダ名を変更した場合、不整合が発生して意図しない動作になります。

#### boot.UPA001の例)

🔜   🛃 🔜 🗢   amd64						
ファイル ホーム 共有 表示						~ 🕐
← → · ↑ <mark>·</mark> « Syunkai Product »	SystemRecovery Server $\rightarrow$	tftp → agent → winpe	> amd64	~ Č		Q
名前	更新日時	種類	サイズ			^
boot	2024/11/11 10:10	ファイル フォルダー				
boot.UPA001	2024/11/18 17:17	ファイル フォルダー				
BOOT.UPA002	2024/11/19/9:14	- פענדר עררינר				
boot.UPA003	2024/11/19 10:28	ファイル フォルダー				
🔄 en	2024/11/11 10:08	ファイル フォルダー				
🔜 ja	2024/11/11 10:08	ファイル フォルダー				
usbbin	2024/11/11 10:10	ファイル フォルダー				
📧 crypttool.exe	2024/10/23 17:53	アプリケーション	274 KB			
F3frfjim.dll	2024/10/23 18:00	アプリケーション拡張	1,211 KB			
📧 fjfilecp.exe	2024/10/23 17:59	アプリケーション	493 KB			~
17 個の項目   状況: 🎎 共有						:::

#### UPA001の例)

🔜   🛃 🤤 =   user				-	- 🗆 X
ファイル ホーム 共有 表示					~ 😮
← → × ↑ 📙 « Syunkai Produc	ct > SystemRecovery Server >	tftp > boot > winpe	> amd64 > user >	✓ ひ userの検索	Q
名前 ^	更新日時	種類	サイズ		
UPA001	2024/11/18 17:17	ファイル フォルダー			
UPA002	2024/11/19 9:14 2024/11/19 10:28	ファイル フォルター ファイル フォルダー			
3 個の項目   状況: 🎎 共有					

3 コピーした Windows PE ブートエージェントを確認する

コピー先のシステムリカバリサーバの環境設定 Wizard を起動し、

【ブートエージェントの管理】より、

コピーした Windows PE ブートエージェントが表示されていることを確認します。

エーシェントの信	7埋				
dows PE (x86	i) Windows PE (x64)				
indows PE (x た、「カスタマイ:	64) ブートエージェントの新規作成/削除/ ズ」によって各ブートエージェントの詳細情報の	コピー/デフォルト( )確認/設定変更	D指定が行えます。 見が行えます。		
デフォルト	ブートエージェント名	登録番号	PEバージョン	作成日時	
	MyWinPE 10.0 22H2 x64	UPA001	10.0(22H2)	2025/01/08 18:15:55	第17党1FP以( <u>A</u> )
	MyWinPE 10.0 22H2 x64 add LAN MyWinPE 10.0 2004 x64	UPA002 UPA003	10.0(2004)	2025/01/08 18:19:24	カスタマイズ( <u>Z</u> )
					削除( <u>D</u> )
					⊐ピ−( <u>C</u> )
					デフォルトに設定( <u>S</u>
					1

4 デフォルトの Windows PE ブートエージェントを設定する

デフォルトに〇印が付いていない場合は、デフォルトで使用するブートエージェントを選択し、 【デフォルトに設定】ボタンをクリックして【閉じる】ボタンをクリックします。

ブートエージェントの管	涅				×
Windows PE (x86)	Windows PE (x64)				
Windows PE (x6 また、「カスタマイフ	4) ブートエージェントの新規作成/肖 (」によって各ブートエージェントの詳細)	」除/コピ−/デフォルト 情報の確認/設定変す	の指定が行えます。 見が行えます。		
デフォルト	ブートTージェント名	警殺案문	PF/(ニジョン	作成日時	
	MyWinPE 10.0 22H2 x64	UPA001	10.0(22H2)	2025/01/08 18:15:55	新規作成( <u>A</u> )
	MyWinPE 10.0 2004 x64	UPA002	10.0(2004)	2025/01/08 18:24:25	カスタマイズ( <u>Z</u> )
					削除( <u>D</u> )
					⊐ピ–( <u>C</u> )
					デフォルトに設定( <u>S</u> )
1					
				閉じ	3

### 5 システムリカバリ機能のサービスを再起動する

環境設定 Wizard の【サーバ環境設定】より、

「サービスの操作」から以下のサービスを選択して再起動します。

- Deployment Service
- PXE Services
- TFTP Service

🗿 環境設定ツール		×
	サービスの操作   サービスの操作ができます。   サービスの操作ができます。   サービスの操作ができます。   Deployment Service 開始   アメE Services 開始   PXE Services 開始   PXE Services 開始   PXE Services 開始   PXE Service 開始   PXE Services 開始   PXE Service アンドリーバ級能を提供します。(SystemcastWard Professional)   ウ注意大 ・   ・環境数定ツールは、デブロイメントコンソールを開いた状態で使用してください。   デブロイメントコンソールを起動した状態で、Deployment Serviceを[「ゆ止」「再起動」すると、実行中のリクエストはキャンセルされます。	
	OK キャンセル 更新(山)	

【OK】ボタンをクリックします。

操作終わり